

今年の12月も「水道管凍結防止強化月間」です！

担当：上下水道部 総務経営課 泉・久恒（電話 0979-24-1234）

令和3年1月の寒波による漏水被害を受けて、毎年12月を「水道管凍結防止強化月間」と位置づけ、これまで市民の皆様への広報活動の強化を行ってまいりました。

併せて、短期的な取り組みとして、漏水を早期に止めるため、各家庭の水道メーターボックスに止水栓ハンドルを設置するとともに、浄水能力の向上を図るため、可搬式浄水装置を購入しました。

また、中長期的な取り組みとして、基幹浄水場である三口浄水場の機能強化も進めてまいりましたが、10年に一度といわれた令和5年1月の寒波においても約1,500件の漏水が発生し、給水制限の措置を取る事態となりました。

このため、過去の寒波漏水の原因を踏まえて新たな取り組みを加え、引き続き水道管等の凍結防止対策に努めてまいります。

ソフト面の取り組み

◆水道管等の凍結防止対策に関する広報活動を強化します

（主な取り組み内容）

- ①水道管凍結防止に関する啓発チラシを全戸配布（市報なかつ1月号）
- ②ケーブルテレビやFMラジオ等の各種媒体を活用して広報
- ③なかつメールやLINE等を活用し情報発信
- ④不動産管理会社や住宅管理会社等へ管理物件の凍結対策の協力依頼
- ⑤電気温水器に焦点を当てた凍結防止対策を市報へ掲載（市報なかつ11月号）【新規】
※令和5年度は、ガス給湯器に焦点を当てた凍結防止対策チラシの配布を実施
- ⑥専用水道使用者・マンション等の集合住宅への凍結対策チラシの配布
- ⑦水道メーターボックスの保温材を作成し、市内の各公民館等にて配布【新規】
- ⑧商工会議所などの団体に会員への周知の協力依頼
- ⑨水道管の凍結対策方法をわかりやすく紹介するため、動画配信中
- ⑩イベントや各種集会等での啓発活動を実施
- ⑪公用車へのステッカー貼付けや啓発用のぼり旗による広報

凍結してしまった時は
水道管が凍結して水が出ないときは、自然と解けるのを待つが、凍結した部分にタオルなどをかけ、その上からぬるま湯をかけて解かしてください。

熱湯は絶対にかけないでください!
熱湯をかけると水道管や蛇口が破損する可能性があります。

漏水していないか確認を!
① 家の近くの蛇口を締めてください。
② マスターメーター(水道メーター)の蓋を開け、文字盤を確認してください。
③ バイパス(入居者の持ち込みのもの)が回っていていないか確認してください。
④ 水道管が凍結した場合は、凍結した部分の上下の蛇口を閉めてください。

水道管の破裂や漏水を発見したときは
早く止水する!
漏水が続いたらマスターボックスにある止水栓ハンドルを回して止水してください。

早急な対応をお願いします
水道管が破裂した場合、止水栓を閉めてください。また、漏水が続く場合は、早急な対応をお願いします。

「なかメール」に空室をお願いします!
水道管が破裂した場合、早急な対応をお願いします。また、漏水が続く場合は、早急な対応をお願いします。

上下水道に関するお問い合わせ
中津市上下水道部 TEL 0979-24-1234 FAX 0979-24-0924
中津市上下水道部客センター TEL 0979-24-1382 FAX 0979-24-5675

寒さは水道管の大敵 早めの凍結防止対策を!
水道管の凍結危険ラインはマイナス4℃!!

水道管が凍結するとこんな大変です!!
※ ご家庭の水道管が凍結し破裂
※ 給湯器・電気温水器の破損による漏水
※ 破損した管から水が漏れて蛇口から出ない!
※ トイレ・お風呂・料理・洗濯ができない!
※ 水道管の修繕に多額の費用がかかった!

凍結しやすい場所はこちら!!
※ 屋外で管がむき出しになっている場所
※ 家の北面などの日が当たらない場所
※ 風当たりが強く、日かげになる場所

空き家の水道は閉栓を!
空き家は漏水しても気が付かれにくく、被害が大きくなります。

寒波が来る前に対策を! 電気温水器

凍結防止のための対策

- 屋外の配管を保護しておく
- 電気温水器の貯湯ユニットに化凍力カバーが付いていない場合は、寒い夜明けを行って凍結を防いでください。
- 貯湯ユニットの凍結防止は「ON」のままにしておく
- お風呂の水をふる接続アダプター(凍結口)から10cm以上ためた状態にしておく
- 少量の水を蛇口から流しておく

寒波によって考えられる凍結や故障とその対応

- 給水管が凍ったときの対応
- 排水、給水バルブが凍結したときの対応
- そのほか、機器のエラー表示が出る時の対応

水道管凍結防止に関する啓発チラシ

電気温水器の凍結対策資料

ハード面の取り組み

◆三口浄水場を災害に強い施設へと増強中です

上下水道部では、三口浄水場の耐震化・更新及び増設事業に取り組んでいます。

令和3年度から配水地を1池から2池に増設する工事に着手し、令和5年度に新しい配水池が完成しました。現在、古い配水池を更新する工事を行っており、令和7年度末に完成する予定です。

その後は、浄水能力を強化するための工事を実施してまいります。



三口浄水場の状況 (は令和5年度に完成した新配水地)

(三口浄水場配水池の容量)	
・ 令和3年1月	6,400 m ³ × 1池 (耐震未対応)
・ 令和6年11月 (現在)	6,400 m ³ × 1池 (耐震未対応) + 6,900 m ³ × 1池 (耐震対応) = 13,300 m ³ (2池)
・ 令和8年3月 (予定)	7,430 m ³ × 1池 (耐震対応) + 6,900 m ³ × 1池 (耐震対応) = 14,330 m ³ (2池)

凍結してしまった時は

水道管が凍結して水が出ないときは、自然と解けるのを待つか、凍結した部分にタオルなどをかぶせ、その上からぬるま湯をかけて解かしてください。



熱湯は絶対にかけないでください!

熱湯をかけると水道管や蛇口が破損することがあります。

漏水していないか確認を!

- ①家の中の蛇口を全て閉めてください。
 - ②メーターボックス(量水器)内にある水道メーターの蓋を開けて、文字盤を確認してください。
 - ③パイロット(丸形のきらきら光るもの)が回転していたら漏水しています。
- ※確認は暖かくなってから! 朝一ではまだ凍結しています!
- ※メーターボックスの多くは道路から敷地に入って1メートル程のところにあります。



隙間にマイナスドライバー等を差し込んで開けます。



ここが回転していたら漏水しています

水道管の破裂や漏水を発見したときは



早く止水する!

漏水を見つけたらメーターボックスの中にある止水栓ハンドルをまわして止水してください。



時計回りにまわす

水を止めたら業者へ修理を依頼してください。
中津市指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。業者の一覧は中津市ホームページに掲載しています(右のQRコードから確認できます)。



業者一覧

「なかつメール」に登録をお願いします!

「なかつメール」では、市からの防災情報や寒波に関する情報、イベント情報などをメールとLINEで配信しています。配信カテゴリの選択もできます。ぜひこの機会にご登録ください。



なかつメール

※修理費用はおお客様のご負担となりますので、複数の業者から見積を取るなどして内容をご確認のうえ、依頼することをおすすめします。

上下水道に関するお問い合わせ

中津市上下水道部

TEL 0979-24-1234

FAX 0979-22-0924

中津市上下水道お客さまセンター

TEL 0979-24-1382

FAX 0979-24-5675

寒さは水道管の大敵

早めの凍結防止対策を!

水道管の凍結危険ラインはマイナス4℃!!



こんなときは要注意

- 気温がマイナス4℃以下になるとき
- 氷点下の真冬が続くとき
- 留守にして数日間水道を使わないとき

天気予報をこまめにチェック!

-4℃

水道管が凍結するとこんなに大変です!!



- ❄️ ご家庭の水道管が凍結し破損!
- ❄️ 給湯器・電気温水器の破損による漏水!
- ❄️ 破損した管から水が漏れて蛇口から出ない!
- ❄️ トイレ・お風呂・料理・洗濯ができない!
- ❄️ 水道管の修繕に多額の費用がかかった!

ご家庭の水道管は個人の財産です。凍結防止対策を講じて、水道管を冬の寒さから守りましょう。



水抜きを忘れて破裂した給湯器



古い保温材の隙間から破裂した給湯器配管

凍結しやすい場所はここ!!



- ❄️ 屋外で管がむき出しになっている場所
- ❄️ 家の北側などの日が当たらない場所
- ❄️ 風当たりが強く、日かげになる場所



むき出しになっている水道管

空き家の水道は閉栓を!

空き家は漏水しても気が付かれにくく、被害が大きくなります。

水道管の凍結防止対策や凍結・破損してしまったときの対処について、動画を紹介しています。右のQRコードよりアクセスしてご覧ください。



冬本番、水道管の凍結トラブルにご用心!

詳しい対策方法や凍結・破損してしまった場合の対処法をご確認いただけます。

中面・裏面もご覧ください!

確認しよう! 凍結防止対策

1 屋外でむき出しになっている水道管や蛇口の保温

外でむき出しになっている水道管や蛇口は、保温材や毛布などで覆い、その上からラップやビニールテープなどで巻き、濡れないようにして保温してください。



保温材があるとき

保温材をむき出しになっている水道管や蛇口にかぶせ、ビニールテープ等で巻き上げて固定してください。



保温材がないとき

古タオルや毛布、気泡緩衝材(プチプチ)などで代用し、ビニールテープ等で巻き上げて固定してください。

2 メーターボックス(量水器)の保温

メーターボックス内に保温材(新聞紙や布切れ、発泡スチロールを濡れないようにビニール袋に入れたもの)を詰め、水道メーター周りを保温することで凍結を予防できます。



メーターボックスの多くは道路から敷地に入って1m程のところにあります。



すき間にマイナスドライバー等を差し込んで開けます

水道メーターボックスの保温材を無料で配布しています!

右に示す公民館に配布用のケースを設置しています。
設置予定期間: 令和6年11月中旬~令和7年2月下旬まで
※一家庭6個までとさせていただきます。



配布場所(15カ所)	
南部公民館	和田コミュニティセンター
北部公民館	今津コミュニティセンター
豊田公民館	沖代公民館
小楠コミュニティセンター	三光コミュニティセンター
鶴居コミュニティセンター	本耶馬溪公民館
大幡コミュニティセンター	耶馬溪公民館(サニーホール)
如水コミュニティセンター	山国公民館
三保交流センター	

3 少量の水を蛇口から流しておく

蛇口を少しあけて糸を引くくらいの水を出しておくことで凍結を予防できます。水は浴槽や容器などにためておき、生活用水としてお使いください。



出し過ぎには注意しましょう

大切な水なので、たまった水は洗濯などに利用しよう!!



4 屋外の給湯器・電気温水器の保温

令和5年1月に発生した寒波の際も、給湯器・電気温水器の破損による漏水が多数発生しました。

1 給湯器の保温

凍結危険箇所 給湯器の外部配管
本体内部との接続部分

対応方法

露出した配管には保温材などを巻く!

●電源コンセントを抜かない!
※普段、節電のためにコンセントを抜いている家庭が実際にあります。

コンセントの確認を!!



※凍結防止方法については、機種により異なりますので取扱説明書をお読みいただくかメーカー、または購入事業者へお問い合わせください。

2 電気温水器の保温

貯湯ユニットに化粧カバーが付いていない場合は、囲いや風よけを付けて直接風が当たらないようにしましょう。市販の温水器用カバーなどもありますので、右の写真の□の部分に風が当たらないように対策をしましょう。

その他の対応方法

●風呂の水をふる接続アダプター(循環口)の上から10cm以上ためた状態にしておく。(図1) ※追いだきのできる温水器のみ
●貯湯ユニットの漏電しゃ断器は「オン」のままにしておく。(図2)
※屋外温度が低い場合、ふる配管およびヒートポンプ配管の凍結を防止するためにポンプが自動的に作動します。オフにすると自動で作動しません。節電・節水のためにオフにしているご家庭があります。

貯湯ユニット



図1

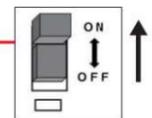
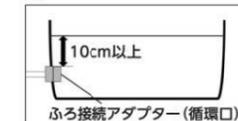


図2 漏電しゃ断器